

平成26年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月14日

上場取引所 東

上場会社名 プレシジョン・システム・サイエンス株式会社

コード番号 7707 URL <http://www.pss.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田島 秀二

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営統括本部長 (氏名) 秋本 淳

TEL 047-303-4800

四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (個人投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年6月期第1四半期の連結業績(平成25年7月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年6月期第1四半期	911	8.6	△132	—	△90	—	1,339	—
25年6月期第1四半期	839	2.1	△198	—	△203	—	△193	—

(注) 包括利益 26年6月期第1四半期 △929百万円 (—%) 25年6月期第1四半期 △191百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年6月期第1四半期	14,676.50	—
25年6月期第1四半期	△2,117.48	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年6月期第1四半期	8,188	5,065	57.7	51,758.68
25年6月期	11,488	8,240	42.9	53,953.07

(参考) 自己資本 26年6月期第1四半期 4,723百万円 25年6月期 4,923百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年6月期	—	0.00	—	2,300.00	2,300.00
26年6月期	—	—	—	—	—
26年6月期(予想)	—	0.00	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 平成26年6月期(予想)の配当金については、平成26年1月1日を効力発生日として1株につき200株の割合で株式分割を行う影響を考慮しております。分割実施前の現在の株数では、1株当たり3,000円の配当に相当いたします。

3. 平成26年6月期の連結業績予想(平成25年7月1日～平成26年6月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,900	△2.4	△220	—	△185	—	1,240	—	13,587.55
通期	4,360	8.2	△250	—	△225	—	1,200	18.3	65.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

(注) 平成26年1月1日を効力発生日として1株につき200株の割合で株式分割を行う影響を考慮しております。分割実施前の現在の株数では、通期予想の1株当たり当期純利益は13,149.24円となります。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年6月期1Q	91,260 株	25年6月期	91,260 株
② 期末自己株式数	26年6月期1Q	— 株	25年6月期	— 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年6月期1Q	91,260 株	25年6月期1Q	91,260 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、四半期決算短信(添付資料)5ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- ・個人投資家向け説明会を12月14日(土)に予定しております。詳しくは弊社ウェブサイト(<http://www.pss.co.jp/>)をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や金融緩和などにより、企業部門の生産活動が回復し、雇用・所得環境にも改善が見られるなど、景気は緩やかに回復してまいりました。一方で、欧州の債務問題の長期化や中国経済の減速など、世界経済の先行き懸念は継続しております。

このような状況の中、当社グループは、バイオ関連業界において、ラボ（研究室）自動化や臨床診断用の各種装置、それらに使用される試薬や反応容器などの消耗品類の製造販売に注力してまいりました。

これら製品は、ロシユグループ、キアゲングループ、三菱化学メディエンス(株)、ライフテクノロジーズ社などへのOEM販売（相手先ブランドによる販売）を中心に、欧米子会社を通じた自社販売も含め、ワールドワイドに事業展開しております。

当第1四半期連結累計期間は、売上高911百万円（前年同期比8.6%増）、売上総利益309百万円（前年同期比90.5%増）となりました。前年同期は、受託開発案件において予想を上回るコスト計上を余儀なくされたことから利益率が大きく悪化しましたが、当第1四半期連結累計期間の利益率は、通常の範囲内に戻っております。

一方で、新規製品の開発及び事業化推進のため、人員増加、研究開発費及び特許関連費用の増加を招き、販売費及び一般管理費は441百万円（前年同期比22.5%増）となりました。その結果、営業損失△132百万円（前年同期は営業損失△198百万円）、経常損失△90百万円（前年同期は経常損失△203百万円）となりました。

その他、当社連結子会社であり、当社グループで50%を出資しているベンチャーファンド「バイオコンテンツ投資事業有限責任組合」において、投資先である(株)リプロセルの株式上場に伴い保有株式を売却したことから、投資有価証券売却益3,822百万円を計上いたしました。少数株主損益や税金等を費用計上し、四半期純利益1,339百万円（前年同期は四半期純損失△193百万円）と大幅な利益を確保いたしました。

取引先別の販売状況は、下表のとおりであります。

	前第1四半期 連結累計期間		当第1四半期 連結累計期間		対前年同期 増減率	(参考) 前連結会計年度	
	金額	構成比	金額	構成比		金額	構成比
	百万円	%	百万円	%	%	百万円	%
ロシユグループ	292	34.8	345	37.9	18.4	1,119	27.8
キアゲングループ	125	14.9	103	11.4	△17.2	638	15.9
その他	422	50.3	461	50.7	9.4	2,270	56.3
合計	839	100.0	911	100.0	8.6	4,029	100.0

ロシユグループ向け販売が好調に推移した一方、キアゲングループ向け販売は低調な結果となりました。その他に関しましては、ライフテクノロジーズ社が好調であった他、アボットグループ向けに開発を進めている臨床診断用の検体前処理装置に関して、開発の進捗に伴う順調な売上計上がなされました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

なお、当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

(製品区分別売上高)

		前第1四半期 連結累計期間		当第1四半期 連結累計期間		対前年同期 増減率	(参考) 前連結会計年度	
		金額	構成比	金額	構成比		金額	構成比
報告 セ グ メ ン ト	装置	359	42.8	546	60.0	52.1	2,351	58.4
	試薬・消耗品	227	27.1	221	24.3	△2.6	940	23.3
	メンテナンス関連	78	9.3	75	8.2	△4.0	297	7.4
	受託製造	172	20.6	66	7.3	△61.2	430	10.7
	その他	2	0.2	1	0.2	△37.9	9	0.2
合計		839	100.0	911	100.0	8.6	4,029	100.0

(注) 当第1四半期連結会計期間より、製品区分の表示を変更しております。当第1四半期連結累計期間を前連結会計年度における製品区分別に表示すると、DNA自動抽出装置等370百万円、試薬・消耗品類221百万円、メンテナンス関連75百万円、その他244百万円となります。

① 装置

当第1四半期連結累計期間は、売上高546百万円（前年同期比52.1%増）と大幅な増収となりました。一方で営業費用は564百万円（前年同期比33.3%増）となり、営業損失△17百万円（前年同期は営業損失△63百万円）となりました。詳細は、以下のとおりであります。

(a) ラボ（研究室）自動化装置

ロシユグループやキアゲングループに供給しているDNA自動抽出装置を中心としたラボ（研究室）向けの各種自動化装置のことであり、159台の出荷に開発売上も加え、売上高439百万円（前年同期比44.7%増）となりました。一方で、営業費用は424百万円（前年同期比26.4%増）となり、営業利益14百万円（前年同期は営業損失△32百万円）を確保いたしました。

(b) 臨床診断装置

三菱化学メディエンス(株)に供給している免疫化学発光測定装置やアボットグループ向けに開発を進めている臨床診断用の検体前処理装置などの臨床向け装置のことであり、38台の出荷に開発売上も加え、売上高107百万円（前年同期比92.0%増）となりました。一方で、予想以上に開発売上のコストが増加し、営業費用139百万円（前年同期比59.8%増）となり、営業損失△32百万円（前年同期は営業損失△31百万円）となりました。

② 試薬・消耗品

当区分は、自社ブランドのDNA抽出用の試薬や当社装置の使用に伴い消費される反応容器などの専用プラスチック消耗品などの区分であります。主要なOEM先は、OEM先が自社で試薬を製造販売しておりますが、プラスチック消耗品類は当社から購入する契約となっております。

当第1四半期連結累計期間は、売上高221百万円（前年同期比2.6%減）となりました。営業費用は220百万円（前年同期比11.1%減）となり、営業利益1百万円（前年同期は営業損失△20百万円）となりました。当区分の売上高は、基本的には装置の累計出荷台数に応じて売上拡大が見込める性質があるため、順調な伸長が期待できるものと考えております。

③ メンテナンス関連

当区分は、装置メンテナンスやスペアパーツ（交換部品）販売などの区分であります。主要なOEM先は、OEM先が自社でメンテナンス対応しておりますが、スペアパーツは当社から購入する契約となっております。

当第1四半期連結累計期間は、売上高75百万円（前年同期比4.0%減）となりました。営業費用は71百万円（前年同期比5.2%減）となり、営業利益3百万円（前年同期比26.6%増）となりました。当区分の売上高は、基本的には装置の累計出荷台数に応じて売上拡大が見込める性質があるため、順調な伸長が期待できるものと考えております。

④ 受託製造

当区分は、子会社の製造工場であるエヌピーエス(株)が実施している、当社以外の外部からの受託製造事業の区分であります。

当第1四半期連結累計期間は、売上高66百万円（前年同期比61.2%減）となりました。営業費用は55百万円（前年同期比67.1%減）となり、営業利益11百万円（前年同期比217.2%増）となりました。新規案件の進捗が遅れている上、既存製品の売上減少も招いており、前年同期比で大きく減収となりました。当区分は、当社の主要事業ではないものの、エヌピーエス(株)の収益確保のための事業となっています。

⑤ その他

当区分は、上記①～④のいずれにも該当しない売上を区分しています。主には、PSSキャピタル(株)とベンチャーファンドであるバイオコンテンツ投資事業有限責任組合、その投資先であるPaGE Science(株)の事業の区分であります。

当第1四半期連結累計期間は、売上高1百万円（前年同期比37.9%減）となりました。営業費用は5百万円（前年同期比72.9%増）となり、営業損失△3百万円（前年同期は営業損失△0百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当社連結子会社であり、当社グループで50%を出資しているベンチャーファンド「バイオコンテンツ投資事業有限責任組合」において、投資先である(株)リプロセルの株式上場に伴い保有株式を売却いたしました。

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は8,188百万円となり、前連結会計年度末に比べて3,300百万円の減少となりました。株式売却の影響などから、現金及び預金が3,201百万円増加、繰延税金資産が451百万円減少、未収入金が1,528百万円減少、投資有価証券が4,357百万円減少いたしました。

負債合計は3,123百万円となり、前連結会計年度末に比べて124百万円の減少となりました。株式売却の影響などから、未払法人税等が665百万円増加、繰延税金負債が812百万円減少いたしました。

純資産合計は5,065百万円となり、前連結会計年度末に比べて3,175百万円の減少となりました。四半期純利益1,339百万円の発生と期末配当209百万円の実施により利益剰余金が1,129百万円増加した一方、株式売却の影響などから、その他有価証券評価差額金が1,341百万円減少、少数株主持分が2,975百万円減少いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想に関しましては、下記のとおり修正を実施しております。詳細につきましては、本日（平成25年11月14日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

① 平成26年6月期第2四半期(累計)連結業績予想の修正（平成25年7月1日～平成25年12月31日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回発表予想 (A)	2,111	5	2	1,332	14,595円66銭
今回修正予想 (B)	1,900	△220	△185	1,240	13,587円55銭
増減額 (B - A)	△211	△225	△187	△92	
増減率 (%)	△10.0%	－%	－%	△6.9%	
(参考) 前期第2四半期実績 平成25年6月期第2四半期	1,947	△121	△86	△154	△1,693円03銭

② 平成26年6月期通期連結業績予想の修正（平成25年7月1日～平成26年6月30日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	4,573	41	34	1,342	73円53銭
今回修正予想 (B)	4,360	△250	△225	1,200	65円75銭
増減額 (B - A)	△213	△291	△259	△142	
増減率 (%)	△4.7%	－%	－%	△10.6%	
(参考) 前期実績 平成25年6月期	4,029	△126	△70	1,014	11,115円34銭

平成26年1月1日を効力発生日として1株につき200株の割合で株式分割を行う影響を考慮して、1株当たり当期純利益を算出しております。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,846,838	5,048,414
受取手形及び売掛金	882,051	601,086
商品及び製品	671,416	712,518
仕掛品	252,594	221,938
原材料及び貯蔵品	106,148	167,981
繰延税金資産	469,841	17,309
未収入金	1,559,756	31,393
その他	136,883	100,160
貸倒引当金	△844	△836
流動資産合計	5,924,687	6,899,966
固定資産		
有形固定資産	1,046,756	1,111,774
無形固定資産	55,098	68,992
投資その他の資産	4,462,261	107,884
固定資産合計	5,564,116	1,288,651
資産合計	11,488,803	8,188,617
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	366,426	432,514
短期借入金	300,000	300,000
1年内返済予定の長期借入金	584,702	547,968
リース債務	2,795	2,450
未払法人税等	59,920	725,213
賞与引当金	11,578	41,288
その他	198,759	299,316
流動負債合計	1,524,182	2,348,751
固定負債		
長期借入金	803,812	666,790
リース債務	4,935	4,453
繰延税金負債	859,497	47,268
退職給付引当金	55,294	56,278
その他	89	73
固定負債合計	1,723,629	774,865
負債合計	3,247,812	3,123,617

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,217,194	2,217,194
資本剰余金	251,999	251,999
利益剰余金	1,165,627	2,295,106
株主資本合計	3,634,820	4,764,300
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,341,142	—
為替換算調整勘定	△52,205	△40,802
その他の包括利益累計額合計	1,288,936	△40,802
少数株主持分	3,317,234	341,502
純資産合計	8,240,991	5,065,000
負債純資産合計	11,488,803	8,188,617

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年9月30日)
売上高	839,682	911,573
売上原価	677,345	602,259
売上総利益	162,337	309,313
販売費及び一般管理費	360,495	441,751
営業損失(△)	△198,158	△132,437
営業外収益		
受取利息	101	126
為替差益	—	7,639
助成金収入	893	1,315
還付消費税等	37	37,706
その他	534	340
営業外収益合計	1,566	47,128
営業外費用		
支払利息	4,139	4,622
為替差損	2,957	—
その他	2	158
営業外費用合計	7,099	4,780
経常損失(△)	△203,690	△90,089
特別利益		
固定資産売却益	—	540
投資有価証券売却益	—	3,822,683
負ののれん発生益	13,449	—
特別利益合計	13,449	3,823,223
特別損失		
固定資産除却損	—	56
投資有価証券評価損	3,645	—
段階取得に係る差損	9,141	—
特別損失合計	12,787	56
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△203,028	3,733,076
法人税、住民税及び事業税	3,709	715,479
法人税等調整額	△11,110	457,364
法人税等合計	△7,401	1,172,843
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△195,627	2,560,233
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△2,386	1,220,855
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△193,241	1,339,377

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△195,627	2,560,233
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	△3,500,651
為替換算調整勘定	4,459	11,402
その他の包括利益合計	4,459	△3,489,249
四半期包括利益	△191,167	△929,015
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△188,781	9,638
少数株主に係る四半期包括利益	△2,386	△938,654

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年7月1日至平成24年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

「II 当第1四半期連結累計期間 2. 報告セグメントの変更等に関する事項」に記載のとおりであります。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成25年7月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書 計上額 (注) 3
	装置	試薬・ 消耗品	メンテナ ンス関連	受託製造	計				
売上高									
外部顧客への売上高	546,782	221,576	75,047	66,888	910,294	1,278	911,573	—	911,573
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	546,782	221,576	75,047	66,888	910,294	1,278	911,573	—	911,573
セグメント利益又は セグメント損失 (△)	△17,750	1,359	3,790	11,334	△1,265	△3,899	△5,164	△127,273	△132,437

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、PSSキャピタル(株)とベンチャーファンドであるバイオコンテンツ投資事業有限責任組合、その投資先であるPaGE Science(株)の事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△127,273千円は、各報告セグメントに帰属しない全社費用(一般管理費及び研究開発費等)であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、当連結会計年度より営業体制の見直しを実施しており、ワールドワイドに統一した営業戦略を実行しております。OEM顧客も世界的規模で活動している会社であり、従来の「日本」、「米国」、「ドイツ」といった地域別セグメントの意義が薄くなり、一方で、来期より本格的な試薬事業への展開が見込まれるため、当第1四半期連結累計期間より、製品区分別セグメントである「装置」、「試薬・消耗品」、「メンテナンス関連」、「受託製造」の区分に変更いたしました。

なお、当該組織変更を反映した前第1四半期連結累計期間の報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報は、以下のとおりであります。

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書 計上額 (注) 3
	装置	試薬・ 消耗品	メンテナ ンス関連	受託製造	計				
売上高									
外部顧客への売上高	359,514	227,421	78,137	172,551	837,625	2,057	839,682	—	839,682
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	359,514	227,421	78,137	172,551	837,625	2,057	839,682	—	839,682
セグメント利益又は セグメント損失 (△)	△63,956	△20,256	2,994	3,573	△77,646	△936	△78,582	△119,575	△198,158

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、PSSキャピタル(株)とベンチャーファンドであるバイオコンテンツ投資事業有限責任組合、その投資先であるPaGE Science(株)の事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△119,575千円は、各報告セグメントに帰属しない全社費用(一般管理費及び研究開発費等)であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。